

# 提案材料の探し方

提案材料をどのように探せば良いのか悩んだりする必要はありません。みなさんの普段の業務中に「こんな点が改善できればな」と感じた時がチャンスです。特に、次のような支障事例は、比較的説得力のある提案がしやすい傾向にあります。

## 1 今日の実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化を求める提案

- (1) 国の基準が厳格すぎて、現場でやりたいことの支障になっている
- (2) 国の定めにより、不合理な状況となったり、無駄な仕事を行っている

## 2 全国一律基準の緩和を求める場合

- (1) 施設や設備等の基準が地域の実情に合致していない
- (2) 職員・従業者の配置基準、資格要件が全国一律で地域の実情に合致していない
- (3) 地理・人口・産業構造等の地域特性に応じたまちづくりができない

## 3 事務の簡素化を求める場合

- (1) 書類・記入様式が多かったり煩雑、その他事務的負担があまりにも大きい
- (2) 国が判断するため、時間がかかり、迅速な対応の妨げになっている
- (3) そもそも国との協議が形骸化しており、実質的な意味合いが薄い

## 4 住民サービスの向上を求める場合

- (1) 類似の事務・権限が、県と市町村で別々になっており住民からは分かりにくい  
(市町村へ一部権限がおりていないため、一体的な権限行使の妨げになる。)
- (2) 類似の事務・サービスに比べて、手間がかかり不便である。
- (3) 国の定めが地域の実情に合致しておらず、支障事例が発生している。

# 提案の実現可能性を高めるコツ

提案が実現した要因を分析すると、いくつかの特徴があります。

- 1 **支障事例が具体的**であり、説得力のある提案
- 2 **住民サービスの改善が具体的に期待**される提案
- 3 **共同提案で、多数の地方公共団体が要望**している提案
- 4 地方創生や一億総活躍など、**国民的な関心が高い分野**の提案
- 5 **担当府省が既に問題意識を持ち**、内部検討を行っている提案
- 6 人口減少、あるいは施設の老朽化等、**現在の問題状況**を踏まえた提案